

# 「大阪名所じっくりMAP」中之島編

〈第1回〉

中之島編



建築解説 高岡伸一  
絵画・彫刻解説 橋爪節也

特別室は館内ガイドツアーで見学できるぞ!

特別室は館内ガイドツアーで見学できるぞ!



他にも、レストランやバーなどには、棟方志功の版画や藤田嗣治、平山郁夫などの作品も飾られているぞ

## 本物の名画がズラリ

### ①リーガロイヤルホテル

北区中之島5-3-68 ☎06-6448-1121(代)

ホテルの前身、新大阪ホテル創業時から収集された美術品は約2800点にもなっており、館内のあちこちで日本近代美術を代表する作品を見ることができる。

### ②絵画/斎藤与里「難波橋風景」

(地階 パレロイヤル通路に展示)  
パリ留学後、セザンヌ、ゴッホなど後期印象派の絵画を日本に紹介した斎藤の1935年頃の活気ある北浜・難波橋付近を描いた作品。中央遠くに復興間もない大阪城天守閣が描かれ、たなびく雲にも半世紀前の高都大阪の熱気が感じられる。

### ③絵画/岡本神草「婦女遊戯」

(1階 メインラウンジ店内に展示)  
大正時代、京都の国画創作協会に注目されながら39歳で急逝した日本画家・岡本神草の大作。新大阪ホテルの頃より飾られていたが、一時、別の作家の作品と思われていた。1988年に岡本の作品と判明し、幻の美人画、と話題となる。

### ④絵画/小出権重「周秋蘭立像」

(1階 メインラウンジ店内に展示)  
大阪・島之内に生まれ、二科会に参加して信濃橋洋画研究所を設立した小出が、1928年に芦屋のアトリエで中国人の踊り子をモデルに描く。晩年の小出らしい洗練された筆致に、彼の代表作として80年以上経った今も高い評価を受けている。

### リーガロイヤルホテル メインラウンジ(1階)

ガラス越しには美しい日本庭園、店内には緩やかな曲線を描く小川がさらさらと流れる。西側の壁面には小磯良平や小出権重などの名画が、東側には江戸中期に制作された壮大な源氏物語絵巻が飾られ、さながら小さな美術館にいるよう。至福の一服はこいつところぞ。

☎06-6441-0956(直) 8:00~21:30 無休



病院の2階には志野さんの原画も展示されている

## 待ち時間に心を和ませる

### ⑤住友病院の絵画

志野和男「生生—2000」(1階ロビー)  
制作年/2000年(平成12年) 北区中之島5-3-20

病院1階ロビーを飾る巨大な陶板画は、版画家の志野和男の作品。志野は春陽会で活躍し、紙を用いたペーパースクリーンの技法でユニークな作品を発表している。陶板は、大塚国際美術館(鳴門市)のミケランジェロの天井画・壁面の再現で知られる大塚オーミ陶業によるもの。病院の2階には原画も展示されている。

## 「中之島の顔」であり続ける

### ⑥ダイビル本館

建設年/2013年(平成25年) 北区中之島3-6-32

2009年の建て替えまで、長く親しまれた中之島のシンボル「旧ダイビル本館」。近代大阪で活躍した建築家・渡辺節の代表作のひとつで、西側のカド丸部分から見ると、丸みを帯びた軸先が堂島川に浮かぶ豪華客船のようだった。2013年に超高層ビルへと建て替えられたが、低層部に旧ビルの外観を復元。館内には旧ビルの社交場を再現した「ダイビルサロン1923」というサロンスペースもある。



### 彫刻/大岡貞蔵「鷺と少女の像」

(正面玄関上)  
大阪生まれの大岡貞蔵は、東京美術学校に学び文展帝展で活躍した彫刻家。中之島界隈には、天岡均による難波橋のライオン像が知られ、中之島を東西に遊歩すれば、大阪を拠点に活動した近代彫刻家の代表作を鑑賞することができる。



### 中之島バンクス de sign de > cafe

ミュージアム、レストランやチャペルなどが並ぶ「中之島バンクス」。川沿いの絶好のロケーションが楽しめるカフェでは、ランチにビーフ100%のハンバーガーをどうぞ。

北区中之島5-3-56 中之島バンクスEAST-B 1F  
☎06-6443-3375  
11:30~22:00(日曜は11:30~20:00) 月曜休



## 最新技術がてんこもり!

### ⑦中之島フェスティバルタワー

建設年/2012年(平成24年)  
北区中之島2-3-18

超高層ビルにしては珍しいカド丸建築で、これは朝日ビルと朝日新聞ビルという二つの朝日建築のDNAを継承したもの。新生ユースティバルホールの上にタワーを載せる、前代未聞の大胆な構造。メガガラスなど最新の建設技術がふんだんに盛り込まれている。2017年には四つ橋筋を挟んでツインタワーとなる予定。



低層部の煉瓦のベージュ色も朝日建築のカラーを引き継いでいる

### 彫刻/建島覚造「牧神、音楽を楽しむ図」

(南側壁面)  
壁面を飾る「牧神、音楽を楽しむ図」は、太陽や月、星のもとでギリシャ神話の音楽好きの牧神が聖琴や笛を奏でる様子を陶板にしたもので、彫刻家の建島覚造を中心とした行動美術協会会員のデザイン。建て替えの際に再制作された。



## 国家の風格漂う名建築

### ⑧日本銀行大阪支店

建設年/1903年(明治36年)  
北区中之島2-1-45

東京の日本銀行を手がけた辰野金吾により設計。東京と同じく、ベルギーの中央銀行をモデルにしたが、細部はイギリスのネオクラシシズムに倣ったといわれるデザイン。建物が手狭となり、1982年に外観を可能な限り保存・復元するがたちで改修され、隣に新館が建てられた。



### 「絶景ポイント!」

### 中之島 LOVE CENTRAL

「ラブセントラル」という名は、実はドリカムが命名!ドリカムとコラボしたレストランやチャペルなどの複合施設で、水辺の遊歩道から写真を撮ると絵葉書のように大阪市中央公会堂が素敵に撮れますよ!



文神像

## 「開かずの扉」いよいよ開放か?!

### ⑨大阪府立中之島図書館

建設年/本館:1904年(明治37年)  
本館開業:1922年(大正11年)  
北区中之島1-2-10 ☎06-6203-0474  
9:00~20:00(土曜は~17:00) 日・祝休  
※リニューアル工事による臨時休館の可能性あり

大阪屈指の財閥、住友家の寄付により建築。ギリシャ・ローマに起源をもつ古典様式に基づき、ドームを中心に四方に棟が配された十字型の設計。玄関入り、ダイナミックな大階段を上れば頭上にはドームが現れ、色ガラスから自然光が降り注ぐ。リニューアル工事が行われ、長年「開かずの扉」の正面玄関からの入館も可能となるか。



### 彫刻/北村西望「野神像」「文神像」

(中央ホール)  
天井のドームには、菅原道真を中心にソクラテスなど世界の聖賢の名が記され、その下にある住友左右衛門による寄贈の銘板の両脇には、「長崎平和祈念像」で知られる彫刻家・北村西望による二神の像が置かれている。建築・彫刻・銘板などが一体となり、大阪の学問の要である図書館の格調ある雰囲気を高めている。

当時は「大阪図書館」と呼ばれ玄関上部にはその文字が

### MOTO COFFEE

難波橋のたもとでひと際目を引く小さな白いビル。名古屋「coffee kajita」の豆を使用し一杯ずつハンドリップしたコーヒー(450円)をテラス席で楽しみたい。

中央区北浜2-1-1 北浜ライオンビルディング  
☎06-4706-3788 12:00~19:00 不定休



## 大正時代に思いを馳せる

### ⑩大阪市中央公会堂

建設年/1918年(大正7年)  
北区中之島1-1-27 ☎06-6208-2002

大阪近代建築の定番中の定番。岡田信一郎の設計が指名コンペで選ばれ、東京駅を手がけた日本の近代建築の父・辰野金吾が監修した。赤レンガの壁に白い御影石で水平の帯を回し、窓をクラシカルに装飾、屋根は大小のドームで華やかに配するなど、「辰野式」デザインの特徴が随所に見られる。2002年には大規模な保存再生工事が実施された。



### 絵画/松岡壽「天地開闢」

(特別室天井絵画)  
天井や壁には、明治洋画の先駆者・松岡壽による油絵画が描かれている。日本神話をモチーフに伊弉諾・伊弉冉(いざなぎ・いざなみ)の尊が天に浮かび、天神神から天沼矛(あめのぬぼこ)授かる天地開闢を表現。

### 彫刻/メリクリウスとミネルヴァ像

正面のアーチ屋根に鎮座するのはギリシャ神話の商業繁盛の神・メリクリウスと豊穡の女神・ミネルヴァの像。特に翼の生えた帽子に杖を持つメリクリウスは、明治時代から商業神として日本に定着していた。戦争中は撤去されたが、保存再生工事の際に復元。



松岡壽「天地開闢」 メリクリウス像

## 中之島に国宝あり!

### ⑪大阪市立東洋陶磁美術館の陶磁器

「飛青磁花生」「油滴天目茶碗」(国宝)  
北区中之島1-1-26 ☎06-6223-0055  
9:30~17:00 月曜(祝日の場合は翌日)休

大阪市が住友グループ21社より安宅コレクション(中国陶磁と韓国陶磁など)の寄贈を受けて1982年に開館。現在約6000点の作品を収蔵。中でも、南宋時代に作られた茶碗「油滴天目茶碗」と元時代の「飛青磁花生」は国宝に指定され、同美術館が誇る自然採光室に陳列されている。



国宝 飛青磁花生 国宝 油滴天目茶碗

国宝の展示はHPで要チェック!

### 「カド丸建築とは…」

外壁の角が丸くアールを描いている建築のことで、勝手に考えた名称だ。水辺のカド丸建築は何となく船のように見える。カド丸が船の船先で、高さが低く水平に伸びるプロポーションは豪華な客船を思わせる。シャープなモダニズム建築は、さしずめ水面を走る高速艇だ。建築は、周囲の風景と一緒に見るとイメージが膨らんで面白いですよ!



## 待ち時間に心を和ませる

### ⑫三井住友銀行大阪本店ビル

建設年/1期:1926年(大正15年)/2期:1930年(昭和5年)  
中央区北浜4-6-5

住友が持てる力のすべてを注ぎ込み、計画から約15年もの歳月をかけて完成。外装に竜山石、内部の壁や柱にはイタリア産の大理石を用いた銀行らしい重厚な建築物は、大阪府庁をしのいで当時最大規模となった。大阪の近代建築を代表する街のランドマークでありながら、今も一般の銀行業務を行っている。見学のための入館は不可。

## 住友財閥のここが本拠地

### ⑬三井住友銀行大阪本店ビル

建設年/1期:1926年(大正15年)/2期:1930年(昭和5年)  
中央区北浜4-6-5

住友が持てる力のすべてを注ぎ込み、計画から約15年もの歳月をかけて完成。外装に竜山石、内部の壁や柱にはイタリア産の大理石を用いた銀行らしい重厚な建築物は、大阪府庁をしのいで当時最大規模となった。大阪の近代建築を代表する街のランドマークでありながら、今も一般の銀行業務を行っている。見学のための入館は不可。

## 紳士倶楽部の大メジャー

### ⑭大阪倶楽部

建設年/1924年(大正13年)  
中央区今橋4-4-11

会員制の紳士のための社交場として1912年に設立。初代会館が火事で焼失し、2代目は安井武雄が設計。外観は一目立ち着きのあるシックな佇まいだが、よく見るとアーチの縁取りに植物文様の装飾が施されたり、トーマスボールの上には謎の怪獣が鎮座したり、玄関を開けると目の前に鬼面の噴水が現れたり、細部に由来不明の安井流オリエンタルデザインが溢れている。



会員制だが演奏会など一般に向けた催しもあり

## モダンガールも通った

### ⑮芝川ビル

建設年/1927年(昭和2年) 中央区伏見町3-3-3

大正時代に建てられた船場のカド丸建築の代表格。カド丸部分がそのままビルの顔となっている。南米のマヤ・インカの古代文明をモチーフにした彫りの深い濃密なデザインがビル全体に施され、特に玄関周りは必見。戦前までは芝蘭社家政学園という花嫁学校として使われた。現在は人気店舗が集結する注目スポットに。



## 女子の「お茶」と言えばここ

### ⑯北浜レトロビルディング

建設年/1912年(明治45年) 中央区北浜1-1-26

金融街として栄えた北浜に、株の仲買業を営む企業の社屋として建築。ビル正面の淡い褐色のタイルは積まれた煉瓦の上に張られている。周囲のビルに埋まりそうな小ささの中に品の良い装飾を丹念に施していて、当時のヨーロッパの潮流を取り入れている。現在のオーナーの手に渡った後、オリジナルを生かした再生を施し、英国喫茶館・北浜レトロとしてオープンした。

